

# みんなでストップ！オーバードーズ

“オーバードーズ”と聞くと、どのようなイメージでしょうか？

オーバードーズとは医薬品を適正量以上に服用することです。急激に大量の医薬品を服用することで意識障害、肝機能障害などの急性中毒を引き起こすことがあります。命に関わる場合や依存症に至るケースもあり大きな社会問題になっています。

オーバードーズに至るには家庭環境や友人関係、経済状況など様々な要因がありますが、その人にとって適切な支援につながるための対応をすることで、オーバードーズを防ぐことができます。そのような役割をしてくれる人は「ゲートキーパー」と呼ばれ、当事者の悩みに気づき、声掛けや相談に乗ることで関わり、支援してくれるところにつなぎ、そして見守る存在です。

だれでもゲートキーパーになることができ、社会全体に必要な存在です。はじめはお節介と思われるかもしれませんが、みんながゲートキーパーとしての意識を持つことで、未然にオーバードーズをストップすることができます。

